

平成 25 年 3 月 5 日

各 位

会 社 名 ゼネラルパッカー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 梅森 輝信
(コード: 6267 大証 JASDAQ・名証第二部)
問 い 合 わ せ 先 常務取締役 小関 幸太郎
電 話 番 号 0568(23)3111(代表)

平成 25 年 7 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 7 月期第 2 四半期累計期間(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日)の業績予想について、平成 24 年 12 月 4 日付当社「平成 25 年 7 月期第 1 四半期決算短信[日本基準](非連結)」にて発表いたしました業績予想と本日公表の実績に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 7 月期通期(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 7 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績の差異について

(1) 第 2 四半期累計期間(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 24 年 12 月 4 日発表)	百万円 2,200	百万円 109	百万円 110	百万円 65	円 銭 7.33
今回修正予想(B)	2,339	66	80	56	6.34
増 減 額 (B-A)	139	△42	△29	△9	—
増 減 率 (%)	6.3	△39.1	△27.0	△13.5	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 7 月期第 2 四半期)	1,995	40	43	20	2.38

(2) 差異の発生理由

売上高につきましては、高額案件の需要増加に伴い包装関連機器と保守消耗部品の売上が計画を上回ったことから、前回発表予想より 139 百万円増加しました。一方で、過去最高である 6 機種の新規開発と売上計上に取り組んできた結果、一部で開発費用及び製造原価が想定より大幅に増加する状況となりました。

利益面につきましては、高額案件で想定より低い粗利実績が複数発生したことなどにより、売上総利益は計画より 31 百万円減少しました。また、販売費及び一般管理費は、研究開発費等の増加に伴い計画より 11 百万円増加したことから、営業利益は、前回発表予想より 42 百万円減少する結果となりました。

経常利益につきましては、為替差益が発生したものの、前回発表予想より 29 百万円減少し、80 百万円となりました。

四半期純利益につきましては、経常利益が減少したことから、税金費用の調整の結果、前回発表予想より 9 百万円減少し、56 百万円となりました。

2. 平成 25 年 7 月期通期業績予想の修正について

(1) 通期（平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 24 年 12 月 4 日発表）	百万円 4,200	百万円 178	百万円 180	百万円 105	円 銭 11.85
今回修正予想（B）	4,200	85	100	65	7.32
増 減 額（B－A）	0	△93	△80	△40	－
増 減 率（%）	0.0	△52.2	△44.4	△38.1	－
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 7 月期）	3,687	39	28	7	0.88

(2) 修正理由

下半期の需要動向につきましては、国内市場は堅調に推移することが見込まれるものの、海外市場向けについては、当期に売上可能な案件の需要が想定より落ち込んできている状況であります。このため、下半期の売上高は計画を下回る見通しとなりました。

この結果、通期売上高予想につきましては、前回発表予想通りとなる見込みであります。

下半期の利益面につきましては、売上高の減少とともに、受注動向による品目別売上高構成比の変動に伴い、売上総利益率の低下が見込まれることから、売上総利益は計画を大きく下回る見通しとなりました。販売費及び一般管理費は、予算執行の抑制と経費削減を推し進めて計画より削減を図るものの、下半期の営業利益は計画よりも 50 百万円程度下回る見込みとなりました。

この結果、第 2 四半期累計期間の減少差異とあわせて、通期の営業利益は、前回発表予想より 93 百万円減少する見通しとなりました。

このため、通期の営業利益予想を 85 百万円、経常利益予想を 100 百万円、当期純利益予想を 65 百万円に修正いたします。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上